

草津市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表 (傍線赤文字部分は変更箇所)

変 更 後	変 更 前																																																												
<p>○ 基本計画の名称：草津市中心市街地活性化基本計画 ○ 作成主体：滋賀県草津市 ○ 計画期間：2019年（平成31年）4月から <u>2025年</u>3月（<u>6</u>年間）</p> <p>1. ～2. （略）</p> <p>3. 中心市街地の活性化の目標 [1] （略） [2] 計画期間 2019年4月～<u>2025年</u>3月（<u>6</u>年間） [3] 目標指標の設定の考え方 (1) 目標1：歴史と景観を活かした“ひとが行き交うまち”（回遊性の向上） 目標指標1：歩行者通行量（休日）（人/日）</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">基準値 9,717 人/日 (2017(平成 29)年度)</td> <td style="padding: 0 10px;">1,565 人/日の増加 →</td> <td style="padding: 5px;">目標値 11,282 人/日 (<u>2024 年度</u>)</td> </tr> </table> </div> <p>①～②ア（略） イ 事業実施効果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">事業</th> <th style="width:70%;">算定内容</th> <th style="width:20%;">実施効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">(7) くさつ 夢本陣 前ス ペ ース 活 用 事 業</td> <td> くさつ夢本陣前のスペースで定期的なイベント実施など活用を図る事業を実施する。2018（平成30）年にこのスペースで不定期開催されたイベントの来場者数は以下のとおりである。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>イベント</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月13日</td> <td>餅つき大会</td> <td style="text-align: center;">50 人</td> </tr> <tr> <td>3月3日</td> <td>ひな祭り</td> <td style="text-align: center;">20 人</td> </tr> <tr> <td>7月7日</td> <td>七夕祭り</td> <td style="text-align: center;">34 人</td> </tr> <tr> <td>9月22日</td> <td>観月祭</td> <td style="text-align: center;">30 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計来場者数</td> <td style="text-align: center;">134 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均来場者数</td> <td style="text-align: center;">34 人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">この事業では定期的な活用を図るため、現在の2倍の来場者数である68人を目指す。新たなこの取組により増加する歩行者通行量は</p> $68 \text{ 人} \times 28.4\%^{(*1)} = \underline{19 \text{ 人/日の増加}}$ <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">*1：2017(平成29)年に実施した市民アンケートによると、「現在の中心市街地の満</p> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">19 人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 9,717 人/日 (2017(平成 29)年度)	1,565 人/日の増加 →	目標値 11,282 人/日 (<u>2024 年度</u>)	事業	算定内容	実施効果	(7) くさつ 夢本陣 前ス ペ ース 活 用 事 業	くさつ夢本陣前のスペースで定期的なイベント実施など活用を図る事業を実施する。2018（平成30）年にこのスペースで不定期開催されたイベントの来場者数は以下のとおりである。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>イベント</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月13日</td> <td>餅つき大会</td> <td style="text-align: center;">50 人</td> </tr> <tr> <td>3月3日</td> <td>ひな祭り</td> <td style="text-align: center;">20 人</td> </tr> <tr> <td>7月7日</td> <td>七夕祭り</td> <td style="text-align: center;">34 人</td> </tr> <tr> <td>9月22日</td> <td>観月祭</td> <td style="text-align: center;">30 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計来場者数</td> <td style="text-align: center;">134 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均来場者数</td> <td style="text-align: center;">34 人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">この事業では定期的な活用を図るため、現在の2倍の来場者数である68人を目指す。新たなこの取組により増加する歩行者通行量は</p> $68 \text{ 人} \times 28.4\%^{(*1)} = \underline{19 \text{ 人/日の増加}}$ <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">*1：2017(平成29)年に実施した市民アンケートによると、「現在の中心市街地の満</p>	開催日	イベント	来場者数	1月13日	餅つき大会	50 人	3月3日	ひな祭り	20 人	7月7日	七夕祭り	34 人	9月22日	観月祭	30 人	合計来場者数		134 人	平均来場者数		34 人	19 人	<p>○ 基本計画の名称：草津市中心市街地活性化基本計画 ○ 作成主体：滋賀県草津市 ○ 計画期間：2019年（平成31年）4月から <u>2024年</u>3月（<u>5</u>年間）</p> <p>1. ～2. （略）</p> <p>3. 中心市街地の活性化の目標 [1] （略） [2] 計画期間 2019年4月～<u>2024年</u>3月（<u>5</u>年間） [3] 目標指標の設定の考え方 (1) 目標1：歴史と景観を活かした“ひとが行き交うまち”（回遊性の向上） 目標指標1：歩行者通行量（休日）（人/日）</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">基準値 9,717 人/日 (2017(平成 29)年度)</td> <td style="padding: 0 10px;">1,565 人/日の増加 →</td> <td style="padding: 5px;">目標値 11,282 人/日 (<u>2023 年度</u>)</td> </tr> </table> </div> <p>①～②ア（略） イ 事業実施効果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">事業</th> <th style="width:70%;">算定内容</th> <th style="width:20%;">実施効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">(7) くさつ 夢本陣 前ス ペ ース 活 用 事 業</td> <td> くさつ夢本陣前のスペースで定期的なイベント実施など活用を図る事業を実施する。2018（平成30）年にこのスペースで不定期開催されたイベントの来場者数は以下のとおりである。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>イベント</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月13日</td> <td>餅つき大会</td> <td style="text-align: center;">50 人</td> </tr> <tr> <td>3月3日</td> <td>ひな祭り</td> <td style="text-align: center;">20 人</td> </tr> <tr> <td>7月7日</td> <td>七夕祭り</td> <td style="text-align: center;">34 人</td> </tr> <tr> <td>9月22日</td> <td>観月祭</td> <td style="text-align: center;">30 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計来場者数</td> <td style="text-align: center;">134 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均来場者数</td> <td style="text-align: center;">34 人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">この事業では定期的な活用を図るため、現在の2倍の来場者数である68人を目指す。新たなこの取組により増加する歩行者通行量は</p> $68 \text{ 人} \times 28.4\%^{(*1)} = \underline{19 \text{ 人/日の増加}}$ <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">*1：2017(平成29)年に実施した市民アンケートによると、「現在の中心市街地の満</p> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">19 人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 9,717 人/日 (2017(平成 29)年度)	1,565 人/日の増加 →	目標値 11,282 人/日 (<u>2023 年度</u>)	事業	算定内容	実施効果	(7) くさつ 夢本陣 前ス ペ ース 活 用 事 業	くさつ夢本陣前のスペースで定期的なイベント実施など活用を図る事業を実施する。2018（平成30）年にこのスペースで不定期開催されたイベントの来場者数は以下のとおりである。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>イベント</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月13日</td> <td>餅つき大会</td> <td style="text-align: center;">50 人</td> </tr> <tr> <td>3月3日</td> <td>ひな祭り</td> <td style="text-align: center;">20 人</td> </tr> <tr> <td>7月7日</td> <td>七夕祭り</td> <td style="text-align: center;">34 人</td> </tr> <tr> <td>9月22日</td> <td>観月祭</td> <td style="text-align: center;">30 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計来場者数</td> <td style="text-align: center;">134 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均来場者数</td> <td style="text-align: center;">34 人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">この事業では定期的な活用を図るため、現在の2倍の来場者数である68人を目指す。新たなこの取組により増加する歩行者通行量は</p> $68 \text{ 人} \times 28.4\%^{(*1)} = \underline{19 \text{ 人/日の増加}}$ <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">*1：2017(平成29)年に実施した市民アンケートによると、「現在の中心市街地の満</p>	開催日	イベント	来場者数	1月13日	餅つき大会	50 人	3月3日	ひな祭り	20 人	7月7日	七夕祭り	34 人	9月22日	観月祭	30 人	合計来場者数		134 人	平均来場者数		34 人	19 人
基準値 9,717 人/日 (2017(平成 29)年度)	1,565 人/日の増加 →	目標値 11,282 人/日 (<u>2024 年度</u>)																																																											
事業	算定内容	実施効果																																																											
(7) くさつ 夢本陣 前ス ペ ース 活 用 事 業	くさつ夢本陣前のスペースで定期的なイベント実施など活用を図る事業を実施する。2018（平成30）年にこのスペースで不定期開催されたイベントの来場者数は以下のとおりである。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>イベント</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月13日</td> <td>餅つき大会</td> <td style="text-align: center;">50 人</td> </tr> <tr> <td>3月3日</td> <td>ひな祭り</td> <td style="text-align: center;">20 人</td> </tr> <tr> <td>7月7日</td> <td>七夕祭り</td> <td style="text-align: center;">34 人</td> </tr> <tr> <td>9月22日</td> <td>観月祭</td> <td style="text-align: center;">30 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計来場者数</td> <td style="text-align: center;">134 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均来場者数</td> <td style="text-align: center;">34 人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">この事業では定期的な活用を図るため、現在の2倍の来場者数である68人を目指す。新たなこの取組により増加する歩行者通行量は</p> $68 \text{ 人} \times 28.4\%^{(*1)} = \underline{19 \text{ 人/日の増加}}$ <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">*1：2017(平成29)年に実施した市民アンケートによると、「現在の中心市街地の満</p>	開催日	イベント	来場者数	1月13日	餅つき大会	50 人	3月3日	ひな祭り	20 人	7月7日	七夕祭り	34 人	9月22日	観月祭	30 人	合計来場者数		134 人	平均来場者数		34 人	19 人																																						
開催日	イベント	来場者数																																																											
1月13日	餅つき大会	50 人																																																											
3月3日	ひな祭り	20 人																																																											
7月7日	七夕祭り	34 人																																																											
9月22日	観月祭	30 人																																																											
合計来場者数		134 人																																																											
平均来場者数		34 人																																																											
基準値 9,717 人/日 (2017(平成 29)年度)	1,565 人/日の増加 →	目標値 11,282 人/日 (<u>2023 年度</u>)																																																											
事業	算定内容	実施効果																																																											
(7) くさつ 夢本陣 前ス ペ ース 活 用 事 業	くさつ夢本陣前のスペースで定期的なイベント実施など活用を図る事業を実施する。2018（平成30）年にこのスペースで不定期開催されたイベントの来場者数は以下のとおりである。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>イベント</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月13日</td> <td>餅つき大会</td> <td style="text-align: center;">50 人</td> </tr> <tr> <td>3月3日</td> <td>ひな祭り</td> <td style="text-align: center;">20 人</td> </tr> <tr> <td>7月7日</td> <td>七夕祭り</td> <td style="text-align: center;">34 人</td> </tr> <tr> <td>9月22日</td> <td>観月祭</td> <td style="text-align: center;">30 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計来場者数</td> <td style="text-align: center;">134 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均来場者数</td> <td style="text-align: center;">34 人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">この事業では定期的な活用を図るため、現在の2倍の来場者数である68人を目指す。新たなこの取組により増加する歩行者通行量は</p> $68 \text{ 人} \times 28.4\%^{(*1)} = \underline{19 \text{ 人/日の増加}}$ <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">*1：2017(平成29)年に実施した市民アンケートによると、「現在の中心市街地の満</p>	開催日	イベント	来場者数	1月13日	餅つき大会	50 人	3月3日	ひな祭り	20 人	7月7日	七夕祭り	34 人	9月22日	観月祭	30 人	合計来場者数		134 人	平均来場者数		34 人	19 人																																						
開催日	イベント	来場者数																																																											
1月13日	餅つき大会	50 人																																																											
3月3日	ひな祭り	20 人																																																											
7月7日	七夕祭り	34 人																																																											
9月22日	観月祭	30 人																																																											
合計来場者数		134 人																																																											
平均来場者数		34 人																																																											

	足度」について「歩いて、楽しく回遊できるまちである」に「思う」「やや思う」と回答した人の割合は 28.4%				足度」について「歩いて、楽しく回遊できるまちである」に「思う」「やや思う」と回答した人の割合は 28.4%		
(イ) 中心市街地公共空間賑わい創出事業	<p>中心市街地の広場や公共空間において、イベント開催などにより各拠点の魅力を高めることで、回遊性の向上を図る。2017(平成29)年に開催された本事業での参加者数は5つのイベント(開催日計6日間)で合計8,315人(1日あたり1,386人)であった。様々な年齢層をターゲットにしてイベントを実施することで、幅広い世代に公共空間とその使い方を知ってもらうきっかけになるため、新たなイベント開催や人気店のブース出店誘致により10%の参加者増を目指す。</p> <p>イベント参加者数が10%増加するとその分歩行者通行量も増加すると考えられ、</p> $1,386 \text{ 人} \times 10\% \times 56\%^{(*1)} = \underline{78 \text{ 人/日の増加}}$ <p>*1: 2018(平成30)年夏に中心市街地公共空間賑わい創出事業で開催されたイベントでの来場者アンケートによると、中心市街地でのイベントへ徒歩で来場した割合は56%</p>	78人		(イ) 中心市街地公共空間賑わい創出事業	<p>中心市街地の広場や公共空間において、イベント開催などにより各拠点の魅力を高めることで、回遊性の向上を図る。2017(平成29)年に開催された本事業での参加者数は5つのイベント(開催日計6日間)で合計8,315人(1日あたり1,386人)であった。様々な年齢層をターゲットにしてイベントを実施することで、幅広い世代に公共空間とその使い方を知ってもらうきっかけになるため、新たなイベント開催や人気店のブース出店誘致により10%の参加者増を目指す。</p> <p>イベント参加者数が10%増加するとその分歩行者通行量も増加すると考えられ、</p> $1,386 \text{ 人} \times 10\% \times 56\%^{(*1)} = \underline{78 \text{ 人/日の増加}}$ <p>*1: 2018(平成30)年夏に中心市街地公共空間賑わい創出事業で開催されたイベントでの来場者アンケートによると、中心市街地でのイベントへ徒歩で来場した割合は56%</p>	78人	
(ウ) くさつシティアリーナ整備(前期計画事業)	<p>2019年度供用開始予定のくさつシティアリーナの年間利用者数は、ネーミングライツ募集要項の想定年間利用者数より180,000人/年であり、事業実施効果による年間利用者数の増加は</p> $180,000 \text{ 人/年} - 2017 \text{ (平成29) 年度の野村運動公園 (体育館) 利用者数 } 58,317 \text{ 人/年} = 121,683 \text{ 人/年}$ <p>これより実施効果による1日の利用者数は</p> $121,683 \text{ 人/年} \div \text{開館日数 } 359 \text{ 日} = 339 \text{ 人/日}$ <p>1日の施設利用者数のうち、歩行者通行量調査地点の通過する割合を調査地点通過割合として設定する。設定の際には、草津川跡地公園の整備前から整備後の各調査地点の歩行者通行量の増減実績を参考とし、以下の値を定めた。 <参考 草津川跡地公園整備前と後の歩行者通行量の比較による調査地点通過割合の算出></p> <p>草津川跡地公園 de 愛ひろばの1日あたりの利用者数</p>	153人		(ウ) くさつシティアリーナ整備(前期計画事業)	<p>2019年度供用開始予定のくさつシティアリーナの年間利用者数は、ネーミングライツ募集要項の想定年間利用者数より180,000人/年であり、事業実施効果による年間利用者数の増加は</p> $180,000 \text{ 人/年} - 2017 \text{ (平成29) 年度の野村運動公園 (体育館) 利用者数 } 58,317 \text{ 人/年} = 121,683 \text{ 人/年}$ <p>これより実施効果による1日の利用者数は</p> $121,683 \text{ 人/年} \div \text{開館日数 } 359 \text{ 日} = 339 \text{ 人/日}$ <p>1日の施設利用者数のうち、歩行者通行量調査地点の通過する割合を調査地点通過割合として設定する。設定の際には、草津川跡地公園の整備前から整備後の各調査地点の歩行者通行量の増減実績を参考とし、以下の値を定めた。 <参考 草津川跡地公園整備前と後の歩行者通行量の比較による調査地点通過割合の算出></p> <p>草津川跡地公園 de 愛ひろばの1日あたりの利用者数</p>	153人	

610,000人/年 ÷ 365日 = 1,671人/日・・・①

エリア	事業位置と調査地点の関係	調査地点	2016	2017	2017-2016増減②	①に対する②の割合③
駅東	エリア内	①Tower111(エントランス)	1,809	1,946	137	8.2%
駅東	エリア内	②Tower111(喫煙所)	2,132	2,346	214	12.8%
駅東	他エリア	③旧ピースポーツ	1,072	1,259	187	11.2%
本陣	エリア内	④草津まちづくりセンター	1,138	1,190	52	3.1%
駅西	他エリア	⑤大阪ガス	1,253	1,228	-25	-1.5%
駅東	事業実施位置周辺	⑥草津川跡地(アーバンホテル側)	278	918	640	38.3%
本陣	事業実施位置周辺	⑦de愛ひろば本陣側堤防	-	488	-	29.2%(*1)
本陣	他エリア	⑧草津宿街道交流館前	393	342	-51	-3.1%

* 1 : ①に対する 2017 の割合

事業実施位置周辺、事業実施位置エリア内、事業実施他エリアのそれぞれの③の割合の平均より、以下のように調査地点通過割合を設定する。

<調査地点通過割合>

事業実施位置周辺	35%
事業実施位置エリア内	10%
事業実施位置他エリア	5%

1日の利用者数に、各調査地点通過割合を乗じ、以下のとおりくさつシティアリーナ整備による歩行者通行量の増加分を求める。

エリア	調査地点	事業位置からの距離	調査地点通過割合①	通過数見込み②
駅東	①Tower111(エントランス)	他エリア	5%	17人
駅東	②Tower111(喫煙所)	他エリア	5%	17人
駅東	③旧ピースポーツ	他エリア	5%	17人
本陣	④草津まちづくりセンター	他エリア	5%	17人
駅西	⑤大阪ガス	エリア内	10%	34人
駅東	⑥草津川跡地(アーバンホテル側)	他エリア	5%	17人
本陣	⑦de愛ひろば本陣側堤防	他エリア	5%	17人
本陣	⑧草津宿街道交流館前	他エリア	5%	17人
整備効果				153人

610,000人/年 ÷ 365日 = 1,671人/日・・・①

エリア	事業位置と調査地点の関係	調査地点	2016	2017	2017-2016増減②	①に対する②の割合③
駅東	エリア内	①Tower111(エントランス)	1,809	1,946	137	8.2%
駅東	エリア内	②Tower111(喫煙所)	2,132	2,346	214	12.8%
駅東	他エリア	③旧ピースポーツ	1,072	1,259	187	11.2%
本陣	エリア内	④草津まちづくりセンター	1,138	1,190	52	3.1%
駅西	他エリア	⑤大阪ガス	1,253	1,228	-25	-1.5%
駅東	事業実施位置周辺	⑥草津川跡地(アーバンホテル側)	278	918	640	38.3%
本陣	事業実施位置周辺	⑦de愛ひろば本陣側堤防	-	488	-	29.2%(*1)
本陣	他エリア	⑧草津宿街道交流館前	393	342	-51	-3.1%

* 1 : ①に対する 2017 の割合

事業実施位置周辺、事業実施位置エリア内、事業実施他エリアのそれぞれの③の割合の平均より、以下のように調査地点通過割合を設定する。

<調査地点通過割合>

事業実施位置周辺	35%
事業実施位置エリア内	10%
事業実施位置他エリア	5%

1日の利用者数に、各調査地点通過割合を乗じ、以下のとおりくさつシティアリーナ整備による歩行者通行量の増加分を求める。

エリア	調査地点	事業位置からの距離	調査地点通過割合①	通過数見込み②
駅東	①Tower111(エントランス)	他エリア	5%	17人
駅東	②Tower111(喫煙所)	他エリア	5%	17人
駅東	③旧ピースポーツ	他エリア	5%	17人
本陣	④草津まちづくりセンター	他エリア	5%	17人
駅西	⑤大阪ガス	エリア内	10%	34人
駅東	⑥草津川跡地(アーバンホテル側)	他エリア	5%	17人
本陣	⑦de愛ひろば本陣側堤防	他エリア	5%	17人
本陣	⑧草津宿街道交流館前	他エリア	5%	17人
整備効果				153人

た割合は 28.3%

* 4 : 2017 (平成29)年に実施した市民アンケートによると、「中心市街地までの交通手段は何ですか?」に対して、大路区の市民が「徒歩」と回答した割合は 76.1%

本事業により、実施箇所には 136 人/日増加すると考えられ、くさつシティアリーナと同様、1 日の利用者数に、各調査地点通過割合を乗じ、以下のとおり北中西・栄町地区市街地再開発事業による歩行者通行量の増加分を求める。

エリア	調査地点	事業位置からの距離	調査地点通過割合①	通過数見込み②
駅東	①Tower111(エントランス)	エリア内	10%	14人
駅東	②Tower111 (喫煙所)	エリア内	10%	14人
駅東	③旧ピースポーツ	他エリア	5%	7人
本陣	④草津まちづくりセンター	他エリア	5%	7人
駅西	⑤大阪ガス	他エリア	5%	7人
駅東	⑥草津川跡地 (アーバンホテル側)	他エリア	5%	7人
本陣	⑦de愛ひろば本陣側堤防	他エリア	5%	7人
本陣	⑧草津宿街道交流館前	他エリア	5%	7人
整備効果				70人

よって、北中西・栄町地区市街地再開発事業により、70 人/日の増加

(カ)
(仮称)
市民総合交流センター整備事業

本事業では、既存施設の市立まちづくりセンターと人権センター等が移設され、新たに子育て支援機能や多世代交流機能、地域力発信機能等が設けられ市民活動の新たな拠点となることが想定される。

新たな機能による増加分見込みは 40,000 人/年である。

本事業による増加分は類似施設 (つどいの広場、草津市社会福祉協議会) の入込客数を参考に算出する。

主な機能	利用者数	積算根拠	類似施設など
子育て支援機能	12,000 人/年	40 人/日×開館日 300 日	つどいの広場「ぼかぼかタウン」
多世代交流機能	3,000 人/年	10 人/日×開館日 300 日	20~30 組/日
コンベンション	15,000 人/年	500 人×3 日×10 回	
社会福祉協議会	10,000 人/年		社協聞き取り
計	40,000 人/年		

事業実施効果による 1 日あたりの施設利用者数は

$40,000 \text{ 人/年} \div \text{開館日数 } 359 \text{ 日} = 111 \text{ 人/日}$

くさつシティアリーナと同様、1 日の利用者数に、各調査地点通過割合を乗じ、以下のとおり (仮称) 市民総合交流センター整備事業による歩行者通行量の増

53 人

た割合は 28.3%

* 4 : 2017 (平成29)年に実施した市民アンケートによると、「中心市街地までの交通手段は何ですか?」に対して、大路区の市民が「徒歩」と回答した割合は 76.1%

本事業により、実施箇所には 136 人/日増加すると考えられ、くさつシティアリーナと同様、1 日の利用者数に、各調査地点通過割合を乗じ、以下のとおり北中西・栄町地区市街地再開発事業による歩行者通行量の増加分を求める。

エリア	調査地点	事業位置からの距離	調査地点通過割合①	通過数見込み②
駅東	①Tower111(エントランス)	エリア内	10%	14人
駅東	②Tower111 (喫煙所)	エリア内	10%	14人
駅東	③旧ピースポーツ	他エリア	5%	7人
本陣	④草津まちづくりセンター	他エリア	5%	7人
駅西	⑤大阪ガス	他エリア	5%	7人
駅東	⑥草津川跡地 (アーバンホテル側)	他エリア	5%	7人
本陣	⑦de愛ひろば本陣側堤防	他エリア	5%	7人
本陣	⑧草津宿街道交流館前	他エリア	5%	7人
整備効果				70人

よって、北中西・栄町地区市街地再開発事業により、70 人/日の増加

(カ)
(仮称)
市民総合交流センター整備事業

本事業では、既存施設の市立まちづくりセンターと人権センター等が移設され、新たに子育て支援機能や多世代交流機能、地域力発信機能等が設けられ市民活動の新たな拠点となることが想定される。

新たな機能による増加分見込みは 40,000 人/年である。

本事業による増加分は類似施設 (つどいの広場、草津市社会福祉協議会) の入込客数を参考に算出する。

主な機能	利用者数	積算根拠	類似施設など
子育て支援機能	12,000 人/年	40 人/日×開館日 300 日	つどいの広場「ぼかぼかタウン」
多世代交流機能	3,000 人/年	10 人/日×開館日 300 日	20~30 組/日
コンベンション	15,000 人/年	500 人×3 日×10 回	
社会福祉協議会	10,000 人/年		社協聞き取り
計	40,000 人/年		

事業実施効果による 1 日あたりの施設利用者数は

$40,000 \text{ 人/年} \div \text{開館日数 } 359 \text{ 日} = 111 \text{ 人/日}$

くさつシティアリーナと同様、1 日の利用者数に、各調査地点通過割合を乗じ、以下のとおり (仮称) 市民総合交流センター整備事業による歩行者通行量の増

53 人

加分を求める。				
エリア	調査地点	事業位置からの距離	調査地点通過割合①	通過数見込み②
駅東	①Tower111(エントランス)	他エリア	5%	6人
駅東	②Tower111 (喫煙所)	他エリア	5%	6人
駅東	③旧ピースポーツ	エリア内	10%	11人
本陣	④草津まちづくりセンター	他エリア	5%	6人
駅西	⑤大阪ガス	他エリア	5%	6人
駅東	⑥草津川跡地 (アーバンホテル側)	他エリア	5%	6人
本陣	⑦de愛ひろば本陣側堤防	他エリア	5%	6人
本陣	⑧草津宿街道交流館前	他エリア	5%	6人
整備効果				53人

よって、(仮称) 市民総合交流センター整備事業により、53人/日の増加。

その他の効果が見込まれる事業
 ○東海道沿道無電柱化事業 ○野村スポーツゾーン利活用促進事業
 ○宿場街道景観形成事業 ○東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業
 ○草津駅周辺バリアフリー化整備事業 ○草津駅西口自転車駐車場整備事業
 ○草津市西口公衆便所更新事業 ○(仮称) 草津駅東第2自転車駐車場整備事業
 ○市道宮町渋川線他管理用カメラ整備事業 ○東海道草津宿拠点整備事業

事業実施による増加分
 (ア) 19人/日 + (イ) 78人/日 + (ウ) 153人/日 + (エ) 89人/日 + (オ) 70人/日 + (カ) 53人/日 = 462人/日

<数値目標> (略)

【令和6年3月変更時の状況】

令和4年度フォローアップでは、目標指標1「歩行者通行量(休日)11,282人/日」の目標値に対し、最新値11,010人/日の状況であり、基準値は上回ったが、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和や拠点整備により、目標値の達成には至っていない状況である。主要事業を補完するために、以下の事業を追加することで、目標指標1の達成を目指す。

東海道草津宿拠点整備事業(事業内容:本陣エリアの既存建物の改修による地域交流拠点の整備)

参考指標: にぎわい創出イベント参加者数(人/年)

「歴史と景観を活かした回遊性の向上とまち歩き観光の推進」に向けては、観光の目的となるようなイベント等ソフト事業の充実が必要である。ただし、開催実績が浅く、過去のデータに乏しいことから、本指標は歩行者通行量を補完する参考指標として設定する。

加分を求める。				
エリア	調査地点	事業位置からの距離	調査地点通過割合①	通過数見込み②
駅東	①Tower111(エントランス)	他エリア	5%	6人
駅東	②Tower111 (喫煙所)	他エリア	5%	6人
駅東	③旧ピースポーツ	エリア内	10%	11人
本陣	④草津まちづくりセンター	他エリア	5%	6人
駅西	⑤大阪ガス	他エリア	5%	6人
駅東	⑥草津川跡地 (アーバンホテル側)	他エリア	5%	6人
本陣	⑦de愛ひろば本陣側堤防	他エリア	5%	6人
本陣	⑧草津宿街道交流館前	他エリア	5%	6人
整備効果				53人

よって、(仮称) 市民総合交流センター整備事業により、53人/日の増加。

その他の効果が見込まれる事業
 ○東海道沿道無電柱化事業 ○野村スポーツゾーン利活用促進事業
 ○宿場街道景観形成事業 ○東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業
 ○草津駅周辺バリアフリー化整備事業 ○草津駅西口自転車駐車場整備事業
 ○草津市西口公衆便所更新事業 ○(仮称) 草津駅東第2自転車駐車場整備事業
 ○市道宮町渋川線他管理用カメラ整備事業 ○新規追加

事業実施による増加分
 (ア) 19人/日 + (イ) 78人/日 + (ウ) 153人/日 + (エ) 89人/日 + (オ) 70人/日 + (カ) 53人/日 = 462人/日

<数値目標> (略)

新規追加

参考指標: にぎわい創出イベント参加者数(人/年)

「歴史と景観を活かした回遊性の向上とまち歩き観光の推進」に向けては、観光の目的となるようなイベント等ソフト事業の充実が必要である。ただし、開催実績が浅く、過去のデータに乏しいことから、本指標は歩行者通行量を補完する参考指標として設定する。

基準値
14,300 人/年
(2017(平成 29)年度)

1,430 人/日の増加



目標値
15,730 人/年
(2024 年度)

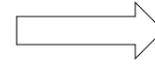
①～② (略)
<数値目標> (略)

(2) 目標 2 : 「健幸づくり」を核として“ひとが集い交流するまち”(集客力の向上)

目標指標 2 : 健幸・観光・交流施設の利用者数(人/年)

基準値
371,077 人/年
(2017(平成 29)年度)

221,350 人/年の増加



目標値
592,427 人/年
(2024 年度)

① (略)
② 目標値の設定

事業	算定内容	実施効果
健幸 (7) (仮称) 草津市立プール整備事業	新たに整備する(仮称)草津市立プールは、(仮称)草津市立プール整備基本計画より年間施設利用者 69,000 人/年の計画となっている。 <u>2024年</u> 8月供用開始予定であり、初年度は $69,000 \text{ 人} \times 8 \text{ か月} / 12 \text{ か月} = 46,000 \text{ 人}$ となり、本事業によって <u>46,000 人/年の増加</u> 。	46,000 人
(1) 野村スポーツゾーン利活用促進事業	パブリックビューイング、スポーツ教室の開催、スポーツ選手との交流、大学との連携事業の実施、周辺飲食店との連携(健康メニューの開発・提供)、健康関連産業の見本市の開催など活性化につながる取組を展開する野村スポーツゾーン利活用促進事業により、グラウンドの利用者数については、 パブリックビューイング 1,750 人(*1) スポーツ教室 960 人(*2) スポーツ選手との交流 300 人(*2) 大学との連携事業 1,100 人(*2) 周辺飲食店との連携 1,100 人(*2) 健康関連産業の見本市 1,750 人(*1) と見込み、本事業によって <u>6,960 人/年の増加</u> 。 *1 : くさつシティアリーナの最大観客席数 3,500×0.5 より算出	6,960 人

基準値
14,300 人/年
(2017(平成 29)年度)

1,430 人/日の増加



目標値
15,730 人/年
(2023 年度)

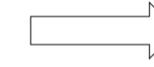
①～② (略)
<数値目標> (略)

(2) 目標 2 : 「健幸づくり」を核として“ひとが集い交流するまち”(集客力の向上)

目標指標 2 : 健幸・観光・交流施設の利用者数(人/年)

基準値
371,077 人/年
(2017(平成 29)年度)

221,350 人/年の増加



目標値
592,427 人/年
(2023 年度)

① (略)
② 目標値の設定

事業	算定内容	実施効果
健幸 (7) (仮称) 草津市立プール整備事業	新たに整備する(仮称)草津市立プールは、(仮称)草津市立プール整備基本計画より年間施設利用者 69,000 人/年の計画となっている。 <u>2023年</u> 8月供用開始予定であり、初年度は $69,000 \text{ 人} \times 8 \text{ か月} / 12 \text{ か月} = 46,000 \text{ 人}$ となり、本事業によって <u>46,000 人/年の増加</u> 。	46,000 人
(1) 野村スポーツゾーン利活用促進事業	パブリックビューイング、スポーツ教室の開催、スポーツ選手との交流、大学との連携事業の実施、周辺飲食店との連携(健康メニューの開発・提供)、健康関連産業の見本市の開催など活性化につながる取組を展開する野村スポーツゾーン利活用促進事業により、グラウンドの利用者数については、 パブリックビューイング 1,750 人(*1) スポーツ教室 960 人(*2) スポーツ選手との交流 300 人(*2) 大学との連携事業 1,100 人(*2) 周辺飲食店との連携 1,100 人(*2) 健康関連産業の見本市 1,750 人(*1) と見込み、本事業によって <u>6,960 人/年の増加</u> 。 *1 : くさつシティアリーナの最大観客席数 3,500×0.5 より算出	6,960 人

		* 2 : 2018 (平成30) 年度市内で開催された類似イベントより算出				* 2 : 2018 (平成30) 年度市内で開催された類似イベントより算出	
	(ウ)	2019年度供用開始予定のくさつシティアリーナの年間利用者数見込はネーミングライツ募集要項の想定年間利用者数より180,000人/年である。本事業の実施により 180,000人/年 - 2017(平成29)年度の野村運動公園(体育館)利用者数58,317人/年 = <u>121,683人/年の増加</u>	121,683人		(ウ)	2019年度供用開始予定のくさつシティアリーナの年間利用者数見込はネーミングライツ募集要項の想定年間利用者数より180,000人/年である。本事業の実施により 180,000人/年 - 2017(平成29)年度の野村運動公園(体育館)利用者数58,317人/年 = <u>121,683人/年の増加</u>	121,683人
観光	(エ)	目標1のイ(ア)のとおり、本事業により、イベントでの平均来場者数68人を目指すとともに、毎週末のイベント開催を目指す。これにより年間のイベント来場者数は 68人 × 52回 = 3,536人 事業実施効果による年間利用者数の増加は 3,536人 - 2018(平成30)年のイベント来場者数134人 = <u>3,402人/年の増加</u>	3,402人	観光	(エ)	目標1のイ(ア)のとおり、本事業により、イベントでの平均来場者数68人を目指すとともに、毎週末のイベント開催を目指す。これにより年間のイベント来場者数は 68人 × 52回 = 3,536人 事業実施効果による年間利用者数の増加は 3,536人 - 2018(平成30)年のイベント来場者数134人 = <u>3,402人/年の増加</u>	3,402人
	(オ)	現存する草津宿本陣は、全国的にみても有数の文化財的価値を持つ歴史遺産として国史跡に指定されていることから、保存活用計画等を策定するとともに、公開施設の耐震補強工事や中・西地区の整備工事を行い、2017年(平成29年)度の草津宿本陣の利用者数の1割増加を目指す。 18,050人 × 10% = <u>1,805人/年の増加</u>	1,805人		(オ)	現存する草津宿本陣は、全国的にみても有数の文化財的価値を持つ歴史遺産として国史跡に指定されていることから、保存活用計画等を策定するとともに、公開施設の耐震補強工事や中・西地区の整備工事を行い、2017年(平成29年)度の草津宿本陣の利用者数の1割増加を目指す。 18,050人 × 10% = <u>1,805人/年の増加</u>	1,805人
交流	(カ)	本計画期間中に整備される(仮称)市民総合交流センターには、既存施設の市立まちづくりセンターと人権センター等が移設され、新たに子育て支援機能や多世代交流機能、地域力発信機能等が設けられ市民活動の新たな拠点となることが想定される。 新たな機能による見込みは <u>40,000人/年の増加</u> 。	40,000人	交流	(カ)	本計画期間中に整備される(仮称)市民総合交流センターには、既存施設の市立まちづくりセンターと人権センター等が移設され、新たに子育て支援機能や多世代交流機能、地域力発信機能等が設けられ市民活動の新たな拠点となることが想定される。 新たな機能による見込みは <u>40,000人/年の増加</u> 。	40,000人
	(キ)	(仮称)市民総合交流センター内において、合同特定健診や料理教室の開催、健康機器の設置による日常的な健康測定、保健師による健康相談など年間を通じた健幸づくりと市民交流の促進を図るものである。 (仮称)市民総合交流センターの会議室の平均は63㎡(特大会議	1,500人		(キ)	(仮称)市民総合交流センター内において、合同特定健診や料理教室の開催、健康機器の設置による日常的な健康測定、保健師による健康相談など年間を通じた健幸づくりと市民交流の促進を図るものである。 (仮称)市民総合交流センターの会議室の平均は63㎡(特大会議	1,500人

	室を除く)の予定であり、定員 30 人程度である。これらの会議室や調理室で週に 1 回事業が開催されると想定すると、本事業による増加分は $30 \text{ 人/回} \times 50 \text{ 週} = 1,500 \text{ 人/年}$	
その他の効果が見込まれる事業 ○草津アマカホールトイレバリアフリー化工事 ○(仮称)健幸ステーション整備事業 ○健康推進アプリ活用事業		
事業実施による増加分 (ア) 46,000 人/年 + (イ) 6,960 人/年 + (ウ) 121,683 人/年 + (エ) 3,402 人/年 + (オ) 1,805 人/年 + (カ) 40,000 人/年 + (キ) 1,500 人/年 = 221,350 人/日		増加分 221,350 人

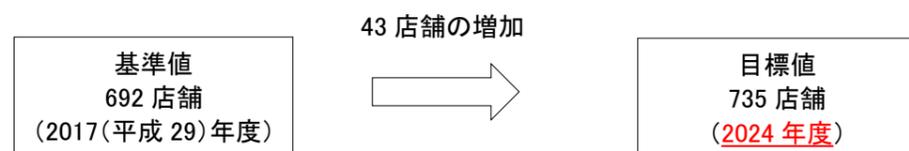
<数値目標> (略)

【令和6年3月変更時の状況】

令和4年度フォローアップでは、目標指標2「健幸・観光・交流施設の利用者数(人/年) 592,427 人/年」の目標値に対し、最新値 658,054 人/年であり、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、対象施設でのイベント等が実施されるようになったことで、利用者数が増加した状況である。様々な自粛制限の反動による一時的な増加に留まらないよう、(仮称)草津市立プール整備事業を実施すること等により、引き続き目標値の達成を目指すものであり、令和5年度目標数値をそのまま令和6年度目標数値とする。

(3) 目標3：魅力ある店舗がつながる“にぎわいが広がるまち”

目標指標3：営業店舗数



① (略)

② 目標数値の設定

事業	算定内容	実施効果
(ア) 北中西・栄町地区市街地再開発事業	駅東エリアで行う北中西・栄町地区市街地再開発事業では、2020年の竣工予定となっており、1階部分に店舗を誘致する計画で、その区画数は32区画となっている。複数区画を使用して出店する事業者が7店舗程度想定されるため、事業実施による増加分として25店舗が見込まれる。	25 店舗
(イ) 魅力店舗誘致事業	中心市街地全体で、市民ニーズの高い業種・業態の店舗誘致を図る魅力店舗誘致事業を実施する。本事業は前期計画からの継続事業であるが、中心市街地公共空間賑わい創出事業で飲食ブースを出した出店者から、草津まちづくり株式会社へ物件問い合わせが増加しているなど、中心市街地エリアへの出店機運も高まっていることから、過去(2	5 店舗

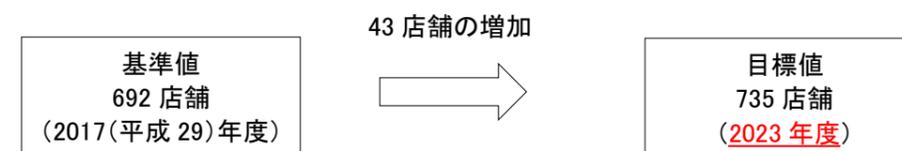
	室を除く)の予定であり、定員 30 人程度である。これらの会議室や調理室で週に 1 回事業が開催されると想定すると、本事業による増加分は $30 \text{ 人/回} \times 50 \text{ 週} = 1,500 \text{ 人/年}$	
その他の効果が見込まれる事業 ○草津アマカホールトイレバリアフリー化工事 ○(仮称)健幸ステーション整備事業 ○健康推進アプリ活用事業		
事業実施による増加分 (ア) 46,000 人/年 + (イ) 6,960 人/年 + (ウ) 121,683 人/年 + (エ) 3,402 人/年 + (オ) 1,805 人/年 + (カ) 40,000 人/年 + (キ) 1,500 人/年 = 221,350 人/日		増加分 221,350 人

<数値目標> (略)

新規追加

(3) 目標3：魅力ある店舗がつながる“にぎわいが広がるまち”

目標指標3：営業店舗数



① (略)

② 目標数値の設定

事業	算定内容	実施効果
(ア) 北中西・栄町地区市街地再開発事業	駅東エリアで行う北中西・栄町地区市街地再開発事業では、2020年の竣工予定となっており、1階部分に店舗を誘致する計画で、その区画数は32区画となっている。複数区画を使用して出店する事業者が7店舗程度想定されるため、事業実施による増加分として25店舗が見込まれる。	25 店舗
(イ) 魅力店舗誘致事業	中心市街地全体で、市民ニーズの高い業種・業態の店舗誘致を図る魅力店舗誘致事業を実施する。本事業は前期計画からの継続事業であるが、中心市街地公共空間賑わい創出事業で飲食ブースを出した出店者から、草津まちづくり株式会社へ物件問い合わせが増加しているなど、中心市街地エリアへの出店機運も高まっていることから、過去(2	5 店舗

	014（平成26）年度～2017（平成29）年度の実績（3店舗）以上の効果を見込み、計画期間中5店舗の増加を図る。	
(ウ) （仮称）市民総合交流センタープロムナード利活用促進事	（仮称）市民総合交流センターの公共空間地において、商店街とのタイアップなど民間を主体としたイベント実施などを実施することによって、店舗誘致につなげることによって、計画期間中に3店舗の増加を目指す。	3店舗
(エ) 東海道・草津宿テナントミックス事業	東海道・草津宿周辺で草津まちづくり会社によるテナントミックス事業を実施することにより、過去（2015（平成27）年度～2017（平成29）年度の実績（2店舗）以上の効果を見込み、計画期間中3店舗の増加を図る。	3店舗
(オ) 草津小市	本陣エリアで上質な生活を演出するマルシェやコンサートを実施し、エリア内の魅力を広めることで出店意欲を促し、計画期間中3店舗の増加を図る。	3店舗
(カ) 中心市街地情報発信事業	「草津まち歩き新聞」などの発行により、中心市街地内の情報を発信することにより、店舗営業を行うエリアとしての魅力も訴求していく。計画期間中2店舗の増加を図る。	2店舗
(キ) 宿場街道景観形成事業	東海道・中山道沿いに並ぶ建物・工作物等の修景整備に対して補助を行うことで、エリアのまちなみに合った店舗の出店につなげる。計画期間中2店舗の増加を図る。	2店舗
その他の効果が見込まれる事業 ○（仮称）市民総合交流センター整備事業 ○東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業 ○東海道沿道無電柱化事業 ○東海道草津宿拠点整備事業		
事業実施による増加分 (ア) 25店舗 + (イ) 5店舗 + (ウ) 3店舗 + (エ) 3店舗 + (オ) 3店舗 + (カ) 2店舗 + (キ) 2店舗 = 43店舗		増加分 43店舗

<数値目標> (略)

【令和6年3月変更時の状況】

令和4年度フォローアップでは、目標指標3「営業店舗数735店舗」の目標値に対し、最新値729店舗の状況であり、駅東・駅西エリアの商業ビルのテナントの増加や自宅兼店舗として新たに出店する事業者などにより、基準値は上回ったが、目標値の達成には至っていない状況である。今後、東海道草津宿拠点整備事業を実施し、本陣エリアに新しい人の流れを生み出し、魅力的な店舗を誘致しやすい環境を整えることで、目標指標3の達成を目指す。

[4] (略)

	014（平成26）年度～2017（平成29）年度の実績（3店舗）以上の効果を見込み、計画期間中5店舗の増加を図る。	
(ウ) （仮称）市民総合交流センタープロムナード利活用促進事	（仮称）市民総合交流センターの公共空間地において、商店街とのタイアップなど民間を主体としたイベント実施などを実施することによって、店舗誘致につなげることによって、計画期間中に3店舗の増加を目指す。	3店舗
(エ) 東海道・草津宿テナントミックス事業	東海道・草津宿周辺で草津まちづくり会社によるテナントミックス事業を実施することにより、過去（2015（平成27）年度～2017（平成29）年度の実績（2店舗）以上の効果を見込み、計画期間中3店舗の増加を図る。	3店舗
(オ) 草津小市	本陣エリアで上質な生活を演出するマルシェやコンサートを実施し、エリア内の魅力を広めることで出店意欲を促し、計画期間中3店舗の増加を図る。	3店舗
(カ) 中心市街地情報発信事業	「草津まち歩き新聞」などの発行により、中心市街地内の情報を発信することにより、店舗営業を行うエリアとしての魅力も訴求していく。計画期間中2店舗の増加を図る。	2店舗
(キ) 宿場街道景観形成事業	東海道・中山道沿いに並ぶ建物・工作物等の修景整備に対して補助を行うことで、エリアのまちなみに合った店舗の出店につなげる。計画期間中2店舗の増加を図る。	2店舗
その他の効果が見込まれる事業 ○（仮称）市民総合交流センター整備事業 ○東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業 ○東海道沿道無電柱化事業		
事業実施による増加分 (ア) 25店舗 + (イ) 5店舗 + (ウ) 3店舗 + (エ) 3店舗 + (オ) 3店舗 + (カ) 2店舗 + (キ) 2店舗 = 43店舗		増加分 43店舗

<数値目標> (略)

新規追加

[4] (略)

4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項
 [1] ~ [2] (2) ② (略)

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
(略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 東海道沿道無電柱化事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 草津駅西口自転車駐車場整備事業 【内容】 草津駅西口における自転車駐車場の整備 【期間】 2021 年度～ <u>2024 年度</u>	草津市	自転車の駐車スペースが不足している JR 草津駅周辺において、駅西口に自転車駐車場を整備することで、中心市街地の交通渋滞の緩和にも寄与するものであり、目標 1 を達成するために必要な事業である。	【支援措置の内容】 都市構造再編集中支援事業(草津駅周辺都市機能誘導区域地区) 【実施時期】 2021 年度～ <u>2024 年度</u>	
【事業名】 草津駅西口公衆便所改修事業(再掲) (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 大路野村線道路整備事業 【内容】 市道大路野村線の安全な道路空間を確保するための道路整備 【期間】 2017 年度～ <u>2024 年度</u>	草津市	くさつシティアリーナや、今後整備される(仮称)草津市立プールへつながる市道大路野村線の安全な道路空間を確保するものであり、目標 1 を達成するために必要な事業である。	【支援措置の内容】 都市構造再編集中支援事業(草津駅周辺都市機能誘導区域地区) 【実施時期】 2020 年度～ <u>2024 年度</u>	
(略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 草津駅東口エスカレーター更新事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 草津駅西口閉鎖型喫煙所整備事業 【内容】 草津駅西口における閉鎖型喫煙所の整備 【期間】	草津市	J R 草津駅西口において、閉鎖型喫煙所を整備し、路上喫煙および受動喫煙防止対策の強化を図るとともに、歩行空間の安全性や快適性を高めるものであり、目標 1 を達成するために必要な事業である。	【支援措置の内容】 都市構造再編集中支援事業(草津駅周辺都市機能誘導区域地区) 【実施時期】 2023 年度～ <u>2024 年度</u>	

4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項
 [1] ~ [2] (2) ② (略)

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
(略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 東海道沿道無電柱化事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 草津駅西口自転車駐車場整備事業 【内容】 草津駅西口における自転車駐車場の整備 【期間】 2021 年度～ <u>2023 年度</u>	草津市	自転車の駐車スペースが不足している JR 草津駅周辺において、駅西口に自転車駐車場を整備することで、中心市街地の交通渋滞の緩和にも寄与するものであり、目標 1 を達成するために必要な事業である。	【支援措置の内容】 都市構造再編集中支援事業(草津駅周辺都市機能誘導区域地区) 【実施時期】 2021 年度～ <u>2023 年度</u>	
【事業名】 草津駅西口公衆便所改修事業(再掲) (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 大路野村線道路整備事業 【内容】 市道大路野村線の安全な道路空間を確保するための道路整備 【期間】 2017 年度～ <u>2023 年度</u>	草津市	くさつシティアリーナや、今後整備される(仮称)草津市立プールへつながる市道大路野村線の安全な道路空間を確保するものであり、目標 1 を達成するために必要な事業である。	【支援措置の内容】 都市構造再編集中支援事業(草津駅周辺都市機能誘導区域地区) 【実施時期】 2020 年度～ <u>2023 年度</u>	
(略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 草津駅東口エスカレーター更新事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 草津駅西口閉鎖型喫煙所整備事業 【内容】 草津駅西口における閉鎖型喫煙所の整備 【期間】	草津市	J R 草津駅西口において、閉鎖型喫煙所を整備し、路上喫煙および受動喫煙防止対策の強化を図るとともに、歩行空間の安全性や快適性を高めるものであり、目標 1 を達成するために必要な事業である。	【支援措置の内容】 都市構造再編集中支援事業(草津駅周辺都市機能誘導区域地区) 【実施時期】 2023 年度	

2023 年度～2024 年度				
【事業名】 東海道草津宿拠点整備事業 【内容】 本陣エリアの既存建物の改修による地域交流拠点の整備 【期間】 2024 年度	草津まちづくり株式会社	本陣エリアの地域資源である歴史的な景観を活かし、既存建物を改修した新たな地域交流拠点や魅力店舗を誘致することにより、本陣エリアの南側まで人の流れを作り出すとともに、周辺地域と連携し、まちなかの滞在快適性の向上と、地域交流の場づくりを行うものであり、目標1、目標3を達成するために必要な事業である。	【支援措置の内容】 まちなかウォーカー推進事業(草津駅周辺滞在快適性等向上区域地区) 【実施時期】 2024 年度	

(4) (略)

5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項

[1]～[2] (2) ① (略)

②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 (仮称)草津市立プール整備事業 【内容】 市立プールの整備 【期間】 2019 年度～2024 年度	草津市	「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」を実現し得る拠点施設として、誰もが幅広く利用できる機能を備えた(仮称)草津市立プールを整備することにより、周辺施設との連携を図りながら交流人口の拡大や地域経済の活性化につながるものであり、目標2を達成するために必要な事業である。	【支援措置の内容】 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(草津駅周辺都市機能誘導区域地区)) 【実施時期】 2019 年度	

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 (仮称)草津市立プール整備事業(再掲) 【内容】 市立プールの整備 【期間】 2019 年度～2024 年度	草津市	「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」を実現し得る拠点施設として、誰もが幅広く利用できる機能を備えた(仮称)草津市立プールを整備することにより、周辺施設との連携を図りながら交流人口の拡大や地域経済の活性化につながるものであり、目標2を達成するために必要な事業である。	【支援措置の内容】 都市構造再編集中支援事業(草津駅周辺都市機能誘導区域地区) 【実施時期】 2019 年度～2024 年度	
【事業名】 草津アミカホール	草津市	アミカホールのトイレをバリアフリー化し、誰でも使いやすいトイレに	【支援措置の内容】 都市構造再編集中支	

2023 年度				
新規追加				

(4) (略)

5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項

[1]～[2] (2) ② (略)

②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 (仮称)草津市立プール整備事業 【内容】 市立プールの整備 【期間】 2019 年度～2023 年度	草津市	「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」を実現し得る拠点施設として、誰もが幅広く利用できる機能を備えた(仮称)草津市立プールを整備することにより、周辺施設との連携を図りながら交流人口の拡大や地域経済の活性化につながるものであり、目標2を達成するために必要な事業である。	【支援措置の内容】 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(草津駅周辺都市機能誘導区域地区)) 【実施時期】 2019 年度	

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 (仮称)草津市立プール整備事業(再掲) 【内容】 市立プールの整備 【期間】 2019 年度～2023 年度	草津市	「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」を実現し得る拠点施設として、誰もが幅広く利用できる機能を備えた(仮称)草津市立プールを整備することにより、周辺施設との連携を図りながら交流人口の拡大や地域経済の活性化につながるものであり、目標2を達成するために必要な事業である。	【支援措置の内容】 都市構造再編集中支援事業(草津駅周辺都市機能誘導区域地区) 【実施時期】 2019 年度～2023 年度	
【事業名】 草津アミカホール	草津市	アミカホールのトイレをバリアフリー化し、誰でも使いやすいトイレに	【支援措置の内容】 都市構造再編集中支	

トイレバリアフリー化工事 【内容】 アミカホールのトイレのバリアフリー化事業 【期間】 2023 年度～2024 年度		するものであり、目標2を達成するために必要な事業である。	援事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区） 【実施時期】 2023 年度～2024 年度	
(略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 子育て支援センター「ぽかぽかタウン」運営事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 草津アミカホール吊り天井等更新事業 【内容】 アミカホールの吊り天井、座席の改修事業 【期間】 2023 年度～2024 年度	草津市	アミカホールの吊り天井および座席を改修することで、安全・安心かつ快適に利用できる環境を整備するものであり、目標2を達成するために必要な事業である。	【支援措置の内容】 都市構造再編集中支援事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区） 【実施時期】 2023 年度～2024 年度	

(4) (略)

6. (略)

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

[1]～[2] (1) (略)

(2) ① 認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 草津まちイルミ 【内容】 エリア内の活性化拠点をイルミネーションで飾るイベントの開催 【期間】 2014 年度～	中心市街地活性化協議会	JR 草津駅前のデッキ広場やニワタス広場などエリア内の活性化拠点をイルミネーションで飾り、冬のまちなかににぎわいとうるおいを作り出すものであり、目標1を達成するために必要な事業である。 ※中心市街地活性化協議会「草津駅前賑わい創出プロジェクト」による事業	【支援措置の内容】 中心市街地活性化ソフト事業 【実施時期】 2019年11月～2025年3月	

トイレバリアフリー化工事 【内容】 アミカホールのトイレのバリアフリー化事業 【期間】 2023 年度		するものであり、目標2を達成するために必要な事業である。	援事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区） 【実施時期】 2023 年度	
(略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 子育て支援センター「ぽかぽかタウン」運営事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 草津アミカホール吊り天井等更新事業 【内容】 アミカホールの吊り天井、座席の改修事業 【期間】 2023 年度	草津市	アミカホールの吊り天井および座席を改修することで、安全・安心かつ快適に利用できる環境を整備するものであり、目標2を達成するために必要な事業である。	【支援措置の内容】 都市構造再編集中支援事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区） 【実施時期】 2023 年度	

(4) (略)

6. (略)

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

[1]～[2] (1) (略)

(2) ① 認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 草津まちイルミ 【内容】 エリア内の活性化拠点をイルミネーションで飾るイベントの開催 【期間】 2014 年度～	中心市街地活性化協議会	JR 草津駅前のデッキ広場やニワタス広場などエリア内の活性化拠点をイルミネーションで飾り、冬のまちなかににぎわいとうるおいを作り出すものであり、目標1を達成するために必要な事業である。 ※中心市街地活性化協議会「草津駅前賑わい創出プロジェクト」による事業	【支援措置の内容】 中心市街地活性化ソフト事業 【実施時期】 2019年度～2023年度	

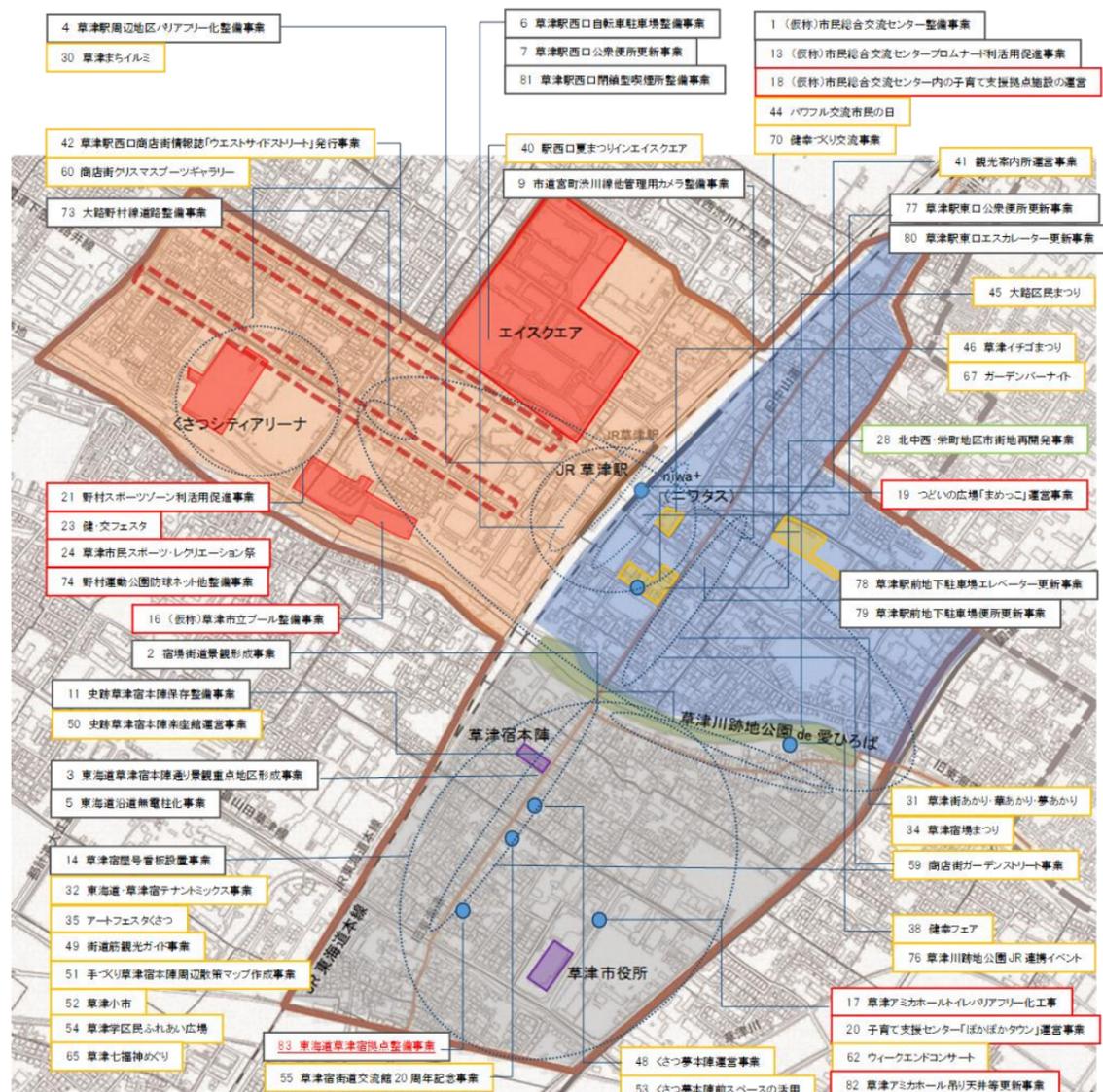
<p>【事業名】 草津街あかり・華あかり・夢あかり 【内容】 まちなかをあかりで灯し、多くの人 が歴史・文化と触 れ合う市民参加型 集客イベントの開 催 【期間】 2007年度～</p>	草津街あ かり・華あ かり・夢あ かり実行 委員会	草津川跡地公園や草津宿本陣、旧街 道沿いの寺社仏閣等、古くからの街道 沿いの景観を地域の人たちが手作り した灯りで彩るなど、草津にしかない 素材・歴史遺産を活かし、中心市街地 の魅力を高める取組であり、目標1を 達成するために必要な事業である。	<p>【支援措置の内容】 中心市街地活性化ソ フト事業 【実施時期】 <u>2019年11月～2025 年3月</u></p>		<p>【事業名】 草津街あかり・華 あかり・夢あかり 【内容】 まちなかをあかり で灯し、多くの人 が歴史・文化と触 れ合う市民参加型 集客イベントの開 催 【期間】 2007年度～</p>	草津街あ かり・華あ かり・夢あ かり実行 委員会	草津川跡地公園や草津宿本陣、旧街 道沿いの寺社仏閣等、古くからの街道 沿いの景観を地域の人たちが手作りし た灯りで彩るなど、草津にしかない素 材・歴史遺産を活かし、中心市街地の 魅力を高める取組であり、目標1を達 成するために必要な事業である。	<p>【支援措置の内容】 中心市街地活性化 ソフト事業 【実施時期】 <u>2019年度～2023年 度</u></p>	
<p>【事業名】 中心市街地公共空 間賑わい創出事業 【内容】 公共空間における にぎわい創出に向 けたイベント開催 【期間】 2017年度～</p>	草津市、草 津まちづ くり株式 会社	草津川跡地公園やniwa+(ニワタス) をはじめとした中心市街地エリア内 の公共空間において、都市再生推進法 人である草津まちづくり株式会社と 行政が連携し、にぎわい創出イベント 等を行うことで、他の民間事業者にも 公共空間の有効活用を促し、恒常的な にぎわいを創出するものであり、目標 1を達成するために必要な事業であ る。	<p>【支援措置の内容】 中心市街地活性化ソ フト事業 【実施時期】 <u>2019年4月～2025 年3月</u></p>		<p>【事業名】 中心市街地公共空 間賑わい創出事業 【内容】 公共空間における にぎわい創出に向 けたイベント開催 【期間】 2017年度～</p>	草津市、草 津まちづ くり株式 会社	草津川跡地公園やniwa+(ニワタス) をはじめとした中心市街地エリア内の 公共空間において、都市再生推進法人 である草津まちづくり株式会社と行政 が連携し、にぎわい創出イベント等 を行うことで、他の民間事業者にも公 共空間の有効活用を促し、恒常的な にぎわいを創出するものであり、目標 1を達成するために必要な事業であ る。	<p>【支援措置の内容】 中心市街地活性化 ソフト事業 【実施時期】 <u>2019年度～2023年 度</u></p>	
<p>【事業名】 草津宿場まつり 【内容】 宿場町草津を内外 にPRし、多くの 人でにぎわう市民 参加型集客イベン トの開催 【期間】 1969年度～</p>	草津宿場 まつり実 行委員会	「宿場町草津」の地域資源を活かし て、市民参加による草津時代行列をは じめとして、市民・企業・行政などの 垣根を越え、多くの人々が一体となっ て取り組む春の一大イベントで中心市 街地の魅力向上と市民の交流・観光客 の誘致を促進するものであり、目標1 を達成するために必要な事業である。	<p>【支援措置の内容】 中心市街地活性化ソ フト事業 【実施時期】 <u>2019年4月～2024 年12月</u></p>		<p>【事業名】 草津宿場まつり 【内容】 宿場町草津を内外 にPRし、多くの 人でにぎわう市民 参加型集客イベン トの開催 【期間】 1969年度～</p>	草津宿場 まつり実 行委員会	「宿場町草津」の地域資源を活かし て、市民参加による草津時代行列をは じめとして、市民・企業・行政などの 垣根を越え、多くの人々が一体となっ て取り組む春の一大イベントで中心市 街地の魅力向上と市民の交流・観光客 の誘致を促進するものであり、目標1 を達成するために必要な事業である。	<p>【支援措置の内容】 中心市街地活性化 ソフト事業 【実施時期】 <u>2019年度～2023年 度</u></p>	
<p>【事業名】 アートフェスタく さつ 【内容】 アートを体験する ことができるワー クショップイベン トの開催 【期間】 2017年度～</p>	草津市、 アートフ ェスタく さつ実行 委員会	本陣エリアにおいて、実行委員会と の協働事業で、次世代を担う子どもた ちを対象に、一日で様々な音楽や美術 などのアートを体験することができる ワークショップを多数出店すること により、芸術に親しむきっかけづく りを行うものであり、目標1を達成す るために必要な事業である。	<p>【支援措置の内容】 中心市街地活性化ソ フト事業 【実施時期】 <u>2019年10月～2025 年3月</u></p>		<p>【事業名】 アートフェスタく さつ 【内容】 アートを体験する ことができるワー クショップイベン トの開催 【期間】 2017年度～</p>	草津市、 アートフ ェスタく さつ実行 委員会	本陣エリアにおいて、実行委員会と の協働事業で、次世代を担う子どもた ちを対象に、一日で様々な音楽や美術 などのアートを体験することができる ワークショップを多数出店すること により、芸術に親しむきっかけづく りを行うものであり、目標1を達成す るために必要な事業である。	<p>【支援措置の内容】 中心市街地活性化 ソフト事業 【実施時期】 <u>2019年度～2023年 度</u></p>	

2017年度～				
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(4) (略)

8. (略)

4から8までに掲げる事業及び措置の実施箇所



エリアを特定しない事業

- 10 草津市公共下水道長寿命化計画
- 12 自転車道・歩道整備事業
- 15 健康都市づくり推進事業
- 22 チャレンジスポーツデー
- 25 大学との連携
- 26 赤ちゃんの駅推進事業
- 27 (仮称)健康ステーション整備事業

草津市結核新生活支援事業

- 29 草津市結核新生活支援事業
- 33 中心市街地公共空間賑わい創出事業
- 36 魅力店舗誘致事業
- 39 草津版ヘルスツーリズム構築検討業務
- 43 中心市街地公共空間活用事業
- 57 くさつパル
- 58 空き店舗等情報ストックバンク事業
- 61 中心市街地情報発信事業

くさつハロウィン

- 63 くさつハロウィン
- 64 京都府大学との連携
- 66 テナントミックス事業
- 68 得するまちのゼミナール(まちゼミ)
- 69 健康推進アプリ活用事業
- 75 イナズマフードグランプリ
- 76 草津川跡地公園 JR 連携イベント
- 71 「公共交通ネットワークの形成」推進事業
- 72 協議会プロジェクト会議推進事業

凡例

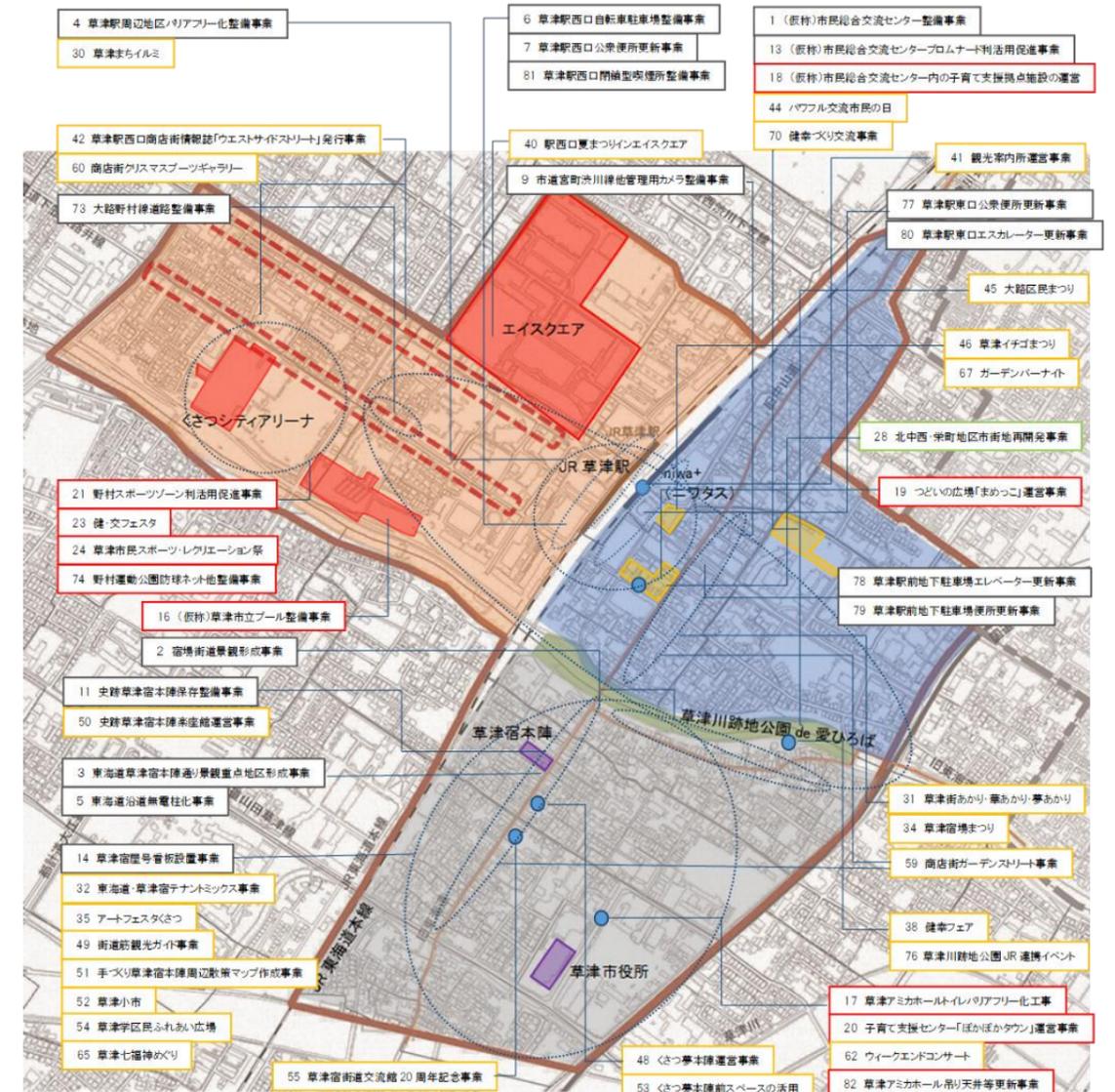
- 市街地整備事業
- 都市福祉施設
- 整備事業
- まちなか居住事業
- 経済活力向上事業
- 一体的推進事業

2017年度～				
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(4) (略)

8. (略)

4から8までに掲げる事業及び措置の実施箇所



エリアを特定しない事業

- 10 草津市公共下水道長寿命化計画
- 12 自転車道・歩道整備事業
- 15 健康都市づくり推進事業
- 22 チャレンジスポーツデー
- 25 大学との連携
- 26 赤ちゃんの駅推進事業
- 27 (仮称)健康ステーション整備事業

草津市結核新生活支援事業

- 29 草津市結核新生活支援事業
- 33 中心市街地公共空間賑わい創出事業
- 36 魅力店舗誘致事業
- 39 草津版ヘルスツーリズム構築検討業務
- 43 中心市街地公共空間活用事業
- 57 くさつパル
- 58 空き店舗等情報ストックバンク事業
- 61 中心市街地情報発信事業

くさつハロウィン

- 63 くさつハロウィン
- 64 京都府大学との連携
- 66 テナントミックス事業
- 68 得するまちのゼミナール(まちゼミ)
- 69 健康推進アプリ活用事業
- 75 イナズマフードグランプリ
- 76 草津川跡地公園 JR 連携イベント
- 71 「公共交通ネットワークの形成」推進事業
- 72 協議会プロジェクト会議推進事業

凡例

- 市街地整備事業
- 都市福祉施設
- 整備事業
- まちなか居住事業
- 経済活力向上事業
- 一体的推進事業

9. 4から8までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項

[1] 略

[2] 中心市街地活性化協議会に関する事項

中心市街地活性化協議会開催状況

	開催日	主な内容
(略)	(略)	(略)
2022(令和4)年度 総会	2022(令和4)年 4月20日	・草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)の変更 について ・草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)の令和 3年度フォローアップの意見聴取について
2022(令和4)年度 第1回全体会議	2022(令和4)年 10月27日	・各プロジェクトについて ・勉強会について
2022(令和4)年度 第2回全体会議	2023(令和5)年 1月30日	・勉強会
2023(令和5)年度 総会	2023(令和5)年 4月25日	・草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)の変更 について ・草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)の令和 4年度フォローアップの意見聴取について
<u>2023(令和5)年度 第1回全体会議</u>	<u>2023(令和5)年 10月27日</u>	<u>・草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)の変更 について</u> <u>・各プロジェクトについて</u> <u>・勉強会について</u>

[3] 略

10. ~12. 略

9. 4から8までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項

[1] 略

[2] 中心市街地活性化協議会に関する事項

中心市街地活性化協議会開催状況

	開催日	主な内容
(略)	(略)	(略)
2022(令和4)年度 総会	2022(令和4)年 4月20日	・草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)の変更 について ・草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)の令和 3年度フォローアップの意見聴取について
2022(令和4)年度 第1回全体会議	2022(令和4)年 10月27日	・各プロジェクトについて ・勉強会について
2022(令和4)年度 第2回全体会議	2023(令和5)年 1月30日	・勉強会
2023(令和5)年度 総会	2023(令和5)年 4月25日	・草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)の変更 について ・草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)の令和 4年度フォローアップの意見聴取について
<u>新規追加</u>		

[3] 略

10. ~12. 略